

横塚山古墳(熊谷市)

正面が横塚山古墳/前方後円墳/5世紀末築造/北側から見る/右手が前方部、左手が後円部



近づいて見る



左手の後円部は道路で削られてしまっている



アップで見る



後円部から前方部の法面を見る



振り返って前方部から後円部の法面を見る/僅かにくびれ部の感じが見てとれる



前方部から後円部方向を見る/西側から見る



前方部の法面を南側から北方向に見る



南側で前方部から後円部の法面を見る/僅かにくびれ部の感じが見てとれる



くびれ部付近から後円部の法面を見る





熊谷市指定文化財史跡

横塚山古墳
よこづかやまこふん

指定年月日 昭和四十四年九月十一日
所在地 熊谷市大字中奈良字横塚

横塚山古墳は、古墳の形態として代表的な前方後円墳であり、長軸は東西南方向を向いています。

墳丘は、一部消滅して現在では全長三十m、後円部最大径二十二・五m、前方部先端幅十二m、高さは後円部で三・二m、前方部で二・五mです。

妻沼バイパスの工事に伴って、昭和四十六年と五十一年の二度にわたり墳丘部が調査され、周溝の一部が確認されています。この周溝により、墳丘は本来東西四十mの長さであったと推定されます。周溝の幅は、後円部南側で、五・八mです。

本古墳の造られた年代は、周溝内から出土した円筒埴輪や朝顔形円筒埴輪によると五世紀末と考えられます。しかし、埋葬施設が調査されておらず不明な点が多く明確ではありません。

本古墳の周囲は、現在、水田になっていて、他に古墳は見られません。付近で埴輪片や土器片が採集されます。かつては、付近に数多くの古墳があり、横塚山古墳を中心とした古墳群があったことが考えられます。

平成八年三月

熊谷市教育委員会

南側で後円部から前方部の法面を見る/僅かにくびれ部の感じが見てとれる



くびれ部の様子



くびれ部付近から前方部の法面を見る



くびれ部付近の墳頂に石碑が見える



墳頂に登って前方部から後円部方向を見る





後円部の先を見る



後円部上から北方向を見る



後円部上から南方向を見る

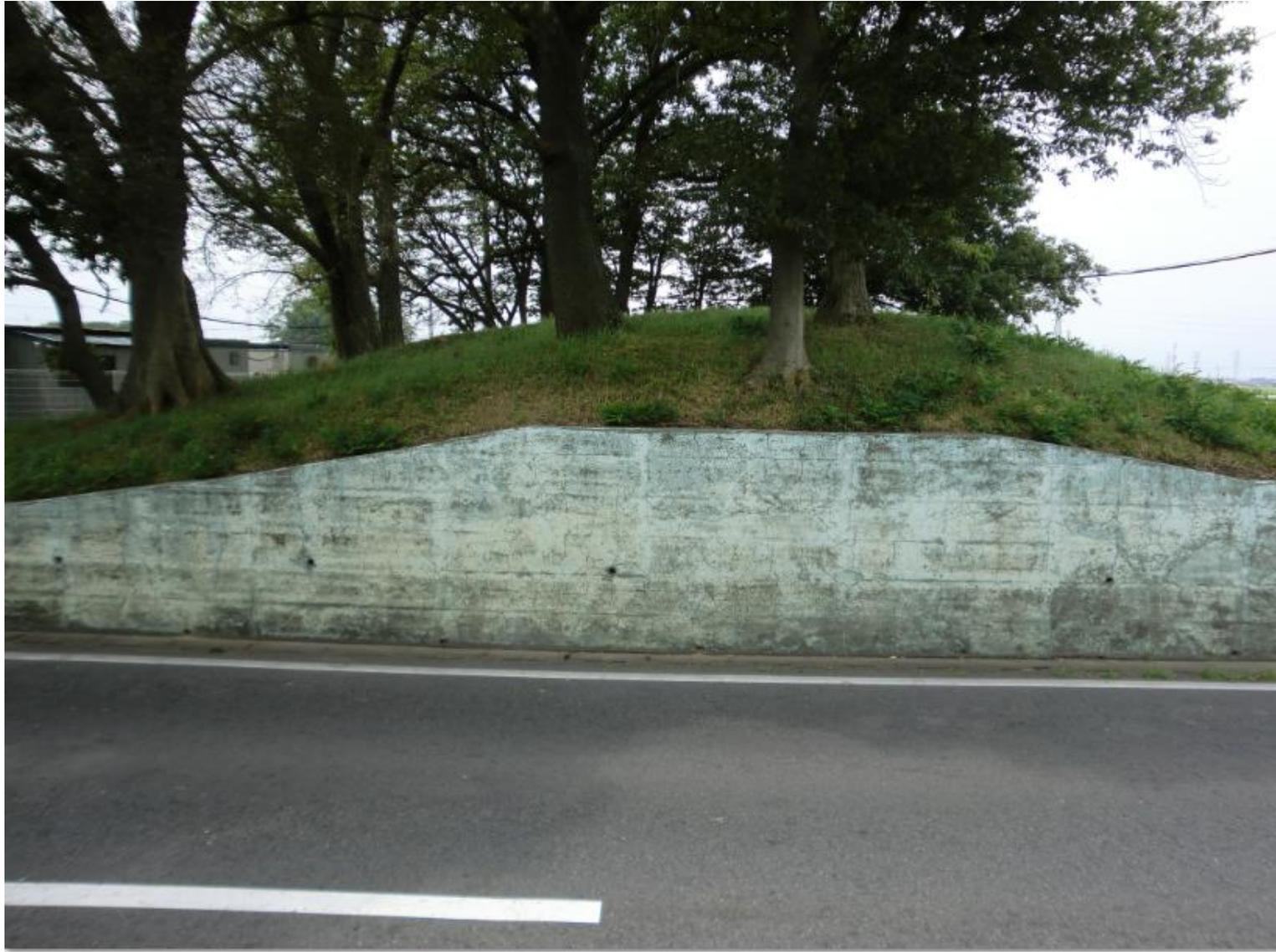


後円部から前方部方向を見る



東側の道路から後円部を見る











参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/kumagava_yokoduka/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/59_kmgv/yokotuka.html

http://saitamano.blogspot.jp/2009/06/blog-post_29.html

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=3425>

